

1 ホザナ高らかに

1.
ホザナ ホザナ ホザナ 高らかに
ホザナ ホザナ ホザナ 高らかに
主よ あなたの 御名あがめます
賛美に満たされて ホザナ高らかに

2.
グローリ グローリ グローリ 主の御名を
グローリ グローリ グローリ 主の御名を
ほめたたえよ 心こころ満たされ
賛美に満ちあふれ グローリ主の御名を

主よあがめます

主よあがめます あなたを賛美します
心を注いで あなたを愛します
主よあがめます あなたを賛美します
聖なる 聖なる ハレルヤ 我が主

あがめます全能の主

あがめます 全能の主 あなただけを
平和の主 あなたを慕い求める
心から ほめ歌ささげ
あがめます 全能の主 あなただけを

あがめます主の御名

あがめます主の御名 心からあなたを
すばらしい あなたの御名
栄光と誉れを ささげます あなたに
大いなる 主イエス きみよ

イエスは主

イエスは主 イエスは主
死から よみがえられた主
すべてのものは ひざをかがめて
あがめん イエスは主

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ピリヒ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々フォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシア/イスラエルとパレスチナのため。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。
- 能登半島地震の被災者の皆様のため

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
「日本にはリバイバルが始まっています」
「私も用いられます」
「すべての問題は解決します」
「することなすこと、みな成功します」
「私のまわりには奇跡が起こります」
「すべてのことを感謝します」
「イエス様と一緒にですから」
「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



弟子たちの足を洗うイエス・キリスト
作者不詳 ドイツの木版画 15世紀

祈りの小径(こみち)

Number: 198 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ヨハネによる福音書13章1-7節・12-17節・34-35節

1 過越の祭の前に、イエスは、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時がきたことを知り、世にいる自分の者たちを愛して、彼らを最後まで愛し通された。2 夕食のとき、悪魔はすでにシモンの子イスカリオテのユダの心に、イエスを裏切ろうとする思いを入れていたが、3 イエスは、父がすべてのものを自分の手にお与えになったこと、また、自分は神から出てきて、神にかえろうとしていることを思い、4 夕食の席から立ち上がって、上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰に巻き、5 それから水をたらいに入れて、弟子たちの足を洗い、腰に巻いた手ぬぐいでふき始められた。6 こうして、シモン・ペテロの番になった。すると彼はイエスに、「主よ、あなたがわたしの足をお洗いになるのですか」と言った。7 イエスは彼に答えて言われた、「わたしのしていることは今あなたにはわからないが、あとでわかるようになるだろう」。

12 こうして彼らの足を洗ってから、上着をつけ、ふたたび席にもどって、彼らに言われた、「わたしがあなたがたにしたことがわかるか。13 あなたがたはわたしを教師、また主と呼んでいる。そう言うのは正しい。わたしはそのとおりである。14 しかし、主であり、また教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、あなたがたもまた、互に足を洗い合うべきである。15 わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ。16 よくよくあなたがたに言うておく。僕はその主人にまさるものではなく、つかわされた者はつかわした者にまさるものではない。17 もしこれらのことがわかっている、それを行うなら、あなたがたはさいわいである。

34 わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。35 互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう」。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

倉知牧師のみことばの解説(コラム)

イエス様が弟子たちの足を洗ってくださった洗足式。それは十字架前夜の最後の晩餐の席でのことでした。もちろんイエス様は、何か儀式やセレモニーをしようと思われたわけではありません。むしろ、「生き方の模範(手本)」として、私たちがどう生きるべきかを、十字架の死を直前に教えてくださった「最後の授業」でした。

ではこの洗足式で教えられたこと、私たちが真似すべき生き方とは何でしょうか？

1. 自分の人生を知って悟ること
2. 最後まで愛し通す、何があるとしても…
3. 足を洗い合い、互いに愛し合う

主であるイエス様を中心に、私たちが人種や年齢や身分を超えて、①「お互い」となり、②お互いを大切な存在として認め、③その人の必要を見出して自分自身を注いでゆく。イエス様はそれを、たとい弟子たちが理解しなかったとしても、イニシアティブをとってはじめてくれました。そこには「今はわからないが、あとで分かる」という信仰が込められています。もしその時に、将来と未来の教会の姿を思い描かれたのなら、イエス様の期待に答えるべく、「互いに愛し合う」という「新しい戒め」に真剣に取り組むたく思わされています。

イエスは、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時がきたことを知り、世にいる自分の者たちを愛して、彼らを最後まで愛し通された。ヨハネによる福音書13章1節

この節から学ぶのは、「キリストのお心のうちには、なんという忍耐強く途切れることのない愛が、ご自分の民に対してあることか」ということである。まさにこの数時間のうちに弟子たちが恥ずべき仕方で御自分を見捨てようとしている、ということ完全に熟知され、彼らが弱さと薄志弱行とを露呈する時が近づいていることを十分予期なされた上で、私たちの聖なる師は、弟子たちへの愛の思いを抱くことをおやめにならず、最後まで彼らを愛されたのである。

ジョン・C・ライル著「ライル福音書講解」より